

1. 加積・天神地域の現況・課題

(1) 位置・地域概要

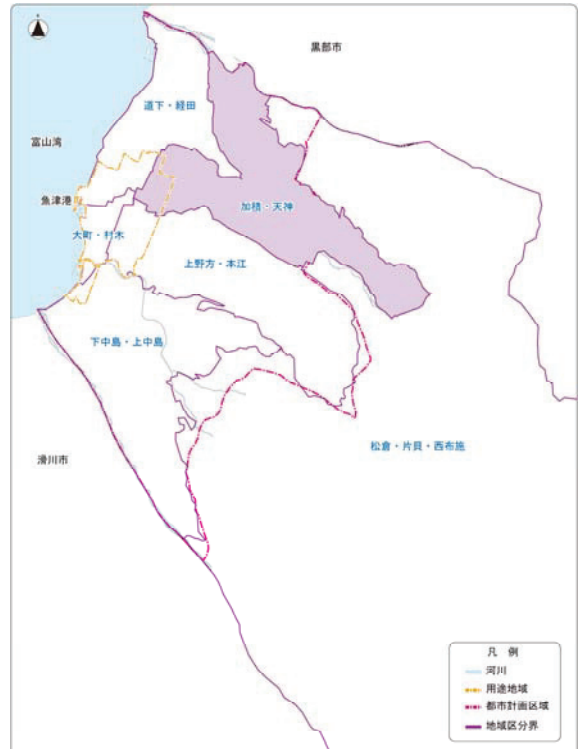
本地域は、魚津市の北部に位置し、北は布施川を介し黒部市に接しています。

古くから農業を主な産業としてきた地域であり、水稻を中心に、りんごが地域の特産となっているとともに、産業振興によって工業と農業が調和した土地利用が進められています。

他方、国道8号バイパスの開通に伴い、沿道での 10,000 m²を超える商業系の開発が行われています。

また、平成 27 年 3 月に開業した北陸新幹線が地域を横断します。

加積地区の相木新・横枕・袋・六郎丸・吉島一丁目・吉島二丁目・吉島・相木・上村木・上村木一丁目・上村木二丁目、天神地区の東山・青柳・天神野新・東尾崎・木下新から成りたっています。

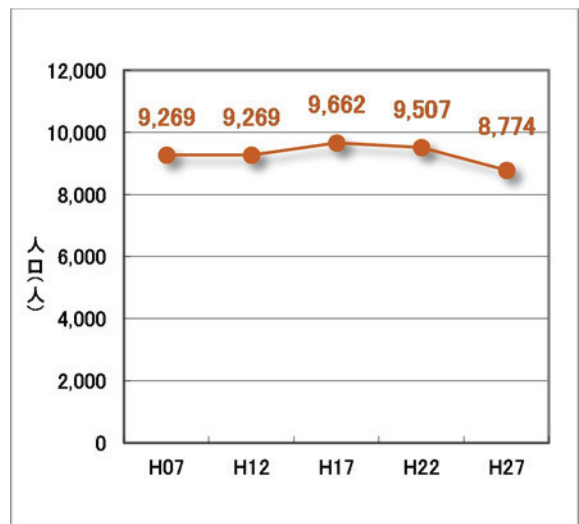


(2) 地域人口

本地域の人口は、平成 7 年以降、増減を繰り返しながら、減少しており、平成 27 年における本地域の 65 歳以上人口の割合は 28.8%となっています。

人口の推移は、平成 7 年に 9,269 人であった人口が、平成 17 年に 9,662 人、平成 27 年に 8,774 人となっており、過去 10 年間で 888 人、過去 20 年間で 495 人減少しています。

また、世帯数は平成 7 年に 2,975 世帯、平成 27 年に 3,298 世帯と増加傾向を示しています。



※平成 27 年の 65 歳以上人口割合、世帯数は
住民基本台帳（9 月 30 日）の数値

(3) 土地利用

本地域では、平成 17 年から平成 27 年までの間に、10,000 ㎡を超える商業用テナントビルその他、店舗、貸店舗、混合廃棄物置き場を含め、開発が計 4 箇所行われています。

【開発一覧】

市受付年月	開発区域に含まれる地域の名称	地区名	開発面積 (㎡)	建築物の用途
H20.11	青柳	天神地区	3,090	混合廃棄物置き場
H25.6	相木字池田、相木字鳥塚	加積地区	3,668	貸店舗
H26.5	吉島	加積地区	15,318	商業用テナントビル
H27.4	吉島	加積地区	3,049	店舗

(4) 都市計画

本地域の一部が、用途地域に指定されているほか、吉島地区の 0.6ha が高度利用地区に指定されています。

都市計画道路 7 路線が地域内を縦横断しており、その内、カーバイド上村木線に未整備区間があります。

【都市計画道路】

都市公園は、街区公園が 4 箇所あり、開設済面積は 0.96ha、平成 27 年度末人口が 8,698 人であることから地域住民 1 人当たりの公園面積は約 1.10 ㎡（市平均 15.03 ㎡：公園面積/都市計画区域内人口）となっています。

その他、本市施行の魚津駅前地区、加積地区、個人施行の相木地区の土地区画整理事業が施行されています。

路線 番号	都市計画道路名
3・2・1	魚津駅中央線
3・3・17	魚津バイパス線
3・4・3	北鬼江吉島線
3・4・5	片貝早月線
3・4・6	魚津臨港線
3・5・7	魚津駅友道線
3・5・10	カーバイド上村木線
計	7 路線

【都市公園】

単位：ha

番号	種別	名称	公園面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
8	街区	上村木公園	0.21	0.21	S42.4.5 市告第 1332 号
	//	上村木 3 号公園	0.37	0.37	
	//	吉島 1 号公園	0.28	0.28	
	//	川の瀬公園	0.10	0.10	
合計		4 公園	0.96	0.96	

【土地区画整理事業施行箇所一覧表】

施行地区名	施行面積	施行年度	施行者
魚津駅前地区	33.6ha	S38～S50	魚津市
加積地区	32.8ha	S45～S55	//
相木	2.0ha	H11～H12	個人

(5) 住民意向

将来の生活基盤整備に関する住民意向について、当地域と市全域を比較すると、天神地区では「生活道路網の整備」、「交通安全対策」に関する割合が大きく上回っており、関心が高いことがわかります。また、加積地区では、市全域の割合を大きく上回るものはありませんが、「住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消」の関心が比較的高くなっています。

		魚津市をもっと住み良くするために、どのような生活基盤の整備を要望しますか														
		合計	幹線道路網の整備拡充	生活道路網の整備	公共交通対策	交通安全対策	上・下水道の整備	公園・緑地の整備	駐車場、駐輪場の整備	住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消	宅地の混在解消	市街地のなかの農地と宅地の混在解消	新しい住宅地の整備	市街地の再開発の促進	その他	無回答
市 全 域		件	1,522	165	537	524	303	70	203	88	78	63	103	448	64	50
		%	—	10.8	35.3	34.4	19.9	4.6	13.3	5.8	5.1	4.1	6.8	29.4	4.2	3.3
地区別	加積	件	215	23	80	70	41	7	29	10	18	8	18	65	9	5
		%	—	10.7	37.2	32.6	19.1	3.3	13.5	4.7	8.4	3.7	8.4	30.2	4.2	2.3
	天神	件	67	8	31	19	17	3	8	2	3	4	5	15	3	1
		%	—	11.9	46.3	28.4	25.4	4.5	11.9	3.0	4.5	6.0	7.5	22.4	4.5	1.5

また、当地域では「市長のタウンミーティング」、「第4次魚津市総合計画策定時の地区別ワークショップ」、「意見交換会」、「地域福祉座談会」において、都市計画に関する事項として以下の意見・要望、課題・取組に必要な支援が整理されています。

地区名	市長のタウンミーティングによる意見・要望
加積 地区	魚津市の都市像は様々に変遷してきたが、どのような都市を目指しているのか
	吉島市営住宅跡地は、人口増加などにつながる利活用をお願いしたい
	富山労災病院周辺道路（南側隣接地、鴨川沿い）の整備をお願いしたい
天神 地区	清流小学校の通学路の整備（歩道整備）をお願いしたい

地区名	第4次総合計画ワークショップによる課題・取組に必要な支援
加積 地区	課題 ・空地の対策が求められています ・小学校統廃合後の問題が多数あります ・道路の渋滞緩和、整備が求められています
	取組に必要な支援（すでに事業化しているもの・支援可能なもの） ・防犯灯の設置 ・防犯カメラの設置 ・カーブミラーの設置 ・警察との連携を図り、市道の拡幅、歩道の整備 ・現在は大型車が校内に入ることができないため、スクールバスも入る広い駐車場の整備
	取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・空家対策 ・都市計画で道路網の整備 ・狭い道路が多いため、通学路の見直し
天神 地区	取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・山、川（用水）などを結ぶ遊歩道（ルート）の設置のための支援

地区名	意見交換会・地域福祉座談会などによる意見・要望
加積 地区	市営住宅の跡地を利用した子供の遊び場や学童保育施設などの整備
	飲食店や喫茶店などの賑わいのあるお店の整備
	昔の地名の案内板の設置
	海・山・川など恵まれた自然を活かした施設の整備
	防犯灯の不足
	歩道が少なく、整備されていても狭くて危険である
	空家が多い
天神 地区	天神山城跡周辺は、天神山野球場や新川学びの森天神山交流館などもあり、「学びのパーク」などの学習拠点として位置づけてはどうか
	高齢者と子どもの交流がない
	近くに買い物できるところがない

(6) 地域の課題

本地域の現況を踏まえて、課題を以下に整理します。

	現 状	課 題
位置・地勢・人口	- 農業が主な産業です。 - 産業振興により工業と農業が調和した土地利用が進められています。 - 国道8号バイパスの開通に伴う商業系の開発が見られます。 - 北陸新幹線が地域を横断します。 - 人口は、平成7年以降、増減を繰り返しながら、減少しています。(20年間で約500人の減少) - 世帯数は、増加しています。	○住宅用地と優良な農用地の調和 ○周辺住環境と調和した産業の振興 ○用途地域内外における土地利用区分の明示と国道8号バイパス沿道の適正な土地利用の規制・誘導 ○北陸新幹線沿線の環境や景観に配慮 ○住み慣れた土地で快適に暮らせる居住性の向上と良好なコミュニティの醸成 ○空家・空地の利活用
土地利用・都市計画	- 平成17年から平成27年までの間に、商業用ビル等の開発が4箇所行われています。 - 本地域の一部が用途地域に指定されています。 - 吉島地区の0.6haが高度利用地区に指定されています。 - 都市計画道路7路線が地域内を縦横断しており、その内、カーバイド上村木線に未整備区間があります。 - 都市公園は、街区公園が4箇所あり、開設済面積が0.96haと1人当たりの公園面積は約1.10㎡です。 - 魚津駅前地区、加積地区、相木地区の土地区画整理事業が施行されています。	○適正な開発の誘導による計画的な土地利用 ○土地利用状況を踏まえた用途地域や、防火地域・準防火地域の見直し検討と用途地域に基づいた土地利用 ○低未利用地の有効利用や都市基盤整備の充実 ○都市構造の変化を踏まえた都市計画道路の見直し検討と計画的な整備 ○住民の憩いの場や災害時の避難場所となる身近な公園の保全 ○住民との協働による公園の維持管理・緑化 ○事業後における良好で安全な住環境の維持

	課 題
住 民 意 向	住民意向調査 加積地区 ○住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消 ○生活道路網の整備 ○新しい住宅地の整備 ○市街地の再開発の促進 ○公園・緑地の整備 天神地区 ○生活道路網の整備 ○交通安全対策 ○市街地のなかの農地と宅地の混在解消 ○幹線道路網の整備拡充 ○新しい住宅地の整備
	市長のタウンミーティング 加積地区 ○吉島市営住宅跡地の有効活用 ○富山労災病院周辺道路の整備 天神地区 ○通学路等地域の交通安全対策
	「第4次魚津市総合計画」策定時の地区別ワークショップ等 加積地区 ○空家・空地の対策 ○清流小学校の施設整備 ○幹線道路網の整備 ○通学路等地域の交通安全対策 天神地区 ○学びの森と天神山城跡周辺における利用環境の向上とPR活動の充実

※住民意向の課題は、都市計画上の課題を抽出し整理している

2. 加積・天神地域の将来像

基本理念

産業振興と快適な住環境の形成

くらす：田園環境と調和する快適な住・交通環境を形成します

本地域は、片貝川の兩岸に広がる田園地帯に教育・文化施設が点在し、中心市街地との近接性や、豊かな自然環境・居住環境が充実している一方、中心市街地付近では、国道8号の開通による沿線の開発が見られます。

今後は、住み慣れた土地で快適に暮らせるように、生活基盤の整備、住民の憩いの場・災害時の避難場所となる身近な公園の保全、施設跡地や空家・空地の利活用、医療施設周辺の整備、小学校周辺の機能充実、国道8号沿道の適正な土地利用の規制・誘導等、計画的なまちづくりにより、良好な田園環境と調和した快適な住環境の形成を目指します。また、国道8号の開通に伴う交通の変化に対応し、渋滞緩和等による円滑な交通環境の形成を目指します。

つくる：産業集積と幹線道路の連携による産業拠点を育成します

本地域は、産業の集積と産業活動を支える道路の整備と、魚津市の産業拠点の形成を目指します。

今後は、産業特性と周辺の良い田園環境や快適な住環境との調和を図りながら、計画的な土地利用、低未利用地の有効利用などを推進するとともに、利便性の高い幹線道路網の整備により、地域に活力を与える産業の振興を図り、多くの人々が働き活躍できる雇用の場の創出を目指します。

うけつぐ：魚津を代表する歴史・文化施設を保全します

本地域には、新川学びの森天神山交流館があるとともに、周辺には天神山城跡や魚津歴史民俗博物館などが立地し、魚津の歴史・文化を市内外に広く発信しています。

今後は、これら施設を地域の様々な活動に活かしながら、その歴史資産の保全・継承と文化施設の利用促進に努めるとともに、新川学びの森天神山交流館と施設周辺における利用環境の向上とPR活動の充実、地域内外とのアクセス性強化による施設の利便性向上を図り、魚津の歴史・文化が集積された魅力のある地域づくりを目指します。

